

PHCbi

レジスタアドレスマップ

製品名：インターフェースボード

品番：MTR-MODB1-PW



目次

はじめに.....	3
メッセージ形式.....	4
メッセージ通信例.....	5
Modbus 例外コード.....	6
レジスタアドレスマップ.....	7
Write の結果一覧.....	47
データ内容の例.....	48

はじめに

本資料は、インターフェースボード（MTR-MODB1-PW）を施設内の上位システム（Modbus/TCPクライアント）に接続する際に必要となる、通信仕様およびレジスタアドレス情報をまとめた資料です。

本製品はModbus/TCPサーバーとして動作し、上位システムからの要求に応じて、弊社機器のデータ取得および設定変更を行うことが可能です。

本資料では、対応機器ごとのレジスタ構成、データ形式、変換方法、通信例、ならびにエラー応答などを記載しています。

施設のネットワーク管理者様が、上位システムとのインターフェース設計・設定を行う際の参考資料としてご活用ください。

なお、本製品はDIPスイッチの設定により対応機器を切り替える構造となっております。DIPスイッチごとにレジスタアドレスマップが変わりますので、対応機器ごとのDIPスイッチ設定については、以下の対応機器一覧をご参照ください。

■対応機器一覧

<https://www.phchd.com/jp/biomedical/interface/modbus#models>



※Modbus は、Schneider Electric USA Inc.の登録商標です。

メッセージ形式

Modbus/TCPプロトコルのメッセージ形式を以下に示します。

Field	MBAP Header			Message Header	Payload	
TCP	Transaction ID	Protocol Id	Message Length	Unit ID	Function Code	Message Data
データサイズ	2Byte	2Byte	2Byte	1Byte	1Byte	可変長

Protocol Id

レジスタの読み込みまたは、書き込みを行うためのProtocol Idは「0」を指定してください。

Message Length

Unit ID、Function Code、Message Dataの転送データ数

Unit ID

レジスタの読み込みまたは、書き込みを行うためのUnit IDは「1」を指定してください。

Function Code

レジスタの読み込みまたは、書き込みを行うためのFunction Codeを以下に示します。

Function Code	名称	機能	Read(R)/ Write(W)	対象の レジスタアドレス	最大データ数 (ワード)
04 (0x04)	Read Input Registers	1つまたは複数の入力レジスタの値を読み出す	R	0xXX01~0xXX1E	30
				0xXXC1~0xXXCF※	15
06 (0x06)	Write Single Register	1つの保持レジスタに値を書き込む	W	0xXX81~0xXX8F	15

※Writeステータスレジスタ

Message Data

Function Codeに対応するメッセージデータ

注意

- ・連続でレジスタの読み込みおよび、書き込みを行なう場合、インターフェースボードからの応答を受信後に次の読み込み、または書き込みを行なってください。応答を受信する前に次の操作を行った場合、正常な動作は保証されませんのでご注意ください。
- ・Read Input RegistersおよびRead Holding Registersの連続読み込みは、500msec以上の間隔をあけてください。

メッセージ通信例

①Function Code 04 (Read Input Registers)

例) MDF-DU503VH/703VHで、レジスタアドレス : 0x1D01 (庫内温度) およびレジスタアドレス : 0x1D02 (外気温度) を読み出す場合

• Request

Function Code	Message Data	
	Starting Address	Quantity of Input Registers
0x04	0x1D01	0x0002

• Response

Function Code	Byte count (2 × N※)	Input Registers (N※ × 2 Bytes)	
		0x1D01 (庫内温度)	0x1D02 (外気温度)
0x04	0x0004	0xFCE0	0x0014

※N = Quantity of Input Registers

Input Registersの値が、0x7FFFおよび0x8000の場合は、機器の値の取得に失敗しているため、弊社営業所もしくは販売店に連絡してください。

②Function Code 06 (Write Single Register)

例) MCO-170AICDで、レジスタアドレス : 0x1484 (電気錠制御) に、施錠 : 0x0001を書き込んだ場合

• Request

Function Code	Message Data	
	Register Address	Register Value
0x06	0x1484	0x0001

• Response

Function Code	Register Address	Register Value
0x06	0x1484	0x0001

Modbus例外コード

本インターフェースボードがサポートする例外コードを示します。

コード	名称	エラー内容
01	ILLEGAL FUNCTION	本インターフェースボードが対応しないファンクションコードを受信した
02	ILLEGAL DATA ADDRESS	・本インターフェースボードにて定義されていないレジスタアドレス（対象機種以外のレジスタアドレス）を受信した ・読み込み専用レジスタに対して、書き込みを行なった
03	ILLEGAL DATA VALUE	メッセージのフォーマットに問題あり(データが短い・長いなど)
06	SERVER DEVICE BUSY	レジスタに書き込みを行なったが、処理できなかった

※本インターフェースボードが対応しない「Protocol Id」や「Unit Id」を受信した場合、
本インターフェースボードは応答（例外応答含む）を返しません。

レジスタアドレスマップ

【DIPスイッチ設定No. 0】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x0001	0x0000	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0002	0x0001	停電状態	停電/正常 停電: 0x0000/正常: 0x0000以外	
0x0003	0x0002	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x0004~0x0080	0x0003~0x007F	未使用	-	-
0x0081	0x0080	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: -45°C~-18°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x0082~0x00C0	0x0081~0x00BF	未使用	-	-
0x00C1	0x00C0	庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x00C2~0x00FF	0x00C1~0x00FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 1】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x0101	0x0100	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0102	0x0101	ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x0103	0x0102	停電状態	停電/正常 停電: 0x0000/正常: 0x0000以外	
0x0104	0x0103	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x0105~0x0180	0x0104~0x017F	未使用	-	-
0x0181	0x0180	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: -90°C~-50°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x0182~0x01C0	0x0181~0x01BF	未使用	-	-
0x01C1	0x01C0	庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x01C2~0x01FF	0x01C1~0x01FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 2】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x0201	0x0200	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0202	0x0201	停電状態	正常/停電 正常: 0x0000/停電: 0x0000以外	
0x0203	0x0202	ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x0204	0x0203	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x0205~0x0280	0x0204~0x027F	未使用	-	-
0x0281	0x0280	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: -152°C~-125°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x0282~0x02C0	0x0281~0x02BF	未使用	-	-
0x02C1	0x02C0	庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x02C2~0x02FF	0x02C1~0x02FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 3】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x0301	0x0300	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0302	0x0301	ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x0303	0x0302	A側コンブ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x0304	0x0303	B側コンブ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x0305	0x0304	停電状態	正常/停電 正常: 0x0000/停電: 0x0000以外	
0x0306	0x0305	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x0307	0x0306	高温警報設定値 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x0308	0x0307	低温警報設定値 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x0309	0x0308	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x030A~0x0380	0x0309~0x037F	未使用	-	-
0x0381	0x0380	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: -90°C~-50°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x0382~0x03C0	0x0381~0x03BF	未使用	-	-
0x03C1	0x03C0	庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x03C2~0x03FF	0x03C1~0x03FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 4】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x0401	0x0400	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0402	0x0401	停電状態	停電/正常 停電: 0x0000/正常: 0x0000以外	
0x0403	0x0402	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x0404	0x0403	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x0405~0x0480	0x0404~0x047F	未使用	-	-
0x0481	0x0480	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: -90°C~-50°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x0482~0x04C0	0x0481~0x04BF	未使用	-	-
0x04C1	0x04C0	庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x04C2~0x04FF	0x04C1~0x04FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 5】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x0501	0x0500	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0502	0x0501	A側コンプ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x0503	0x0502	B側コンプ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x0504	0x0503	停電状態	正常/停電 正常: 0x0000/停電: 0x0000以外	
0x0505	0x0504	ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x0506	0x0505	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x0507	0x0506	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x0508~0x0580	0x0507~0x057F	未使用	-	-
0x0581	0x0580	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: -90°C~-50°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x0582~0x05C0	0x0581~0x05BF	未使用	-	-
0x05C1	0x05C0	庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x05C2~0x05FF	0x05C1~0x05FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 6】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x0601	0x0600	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0602	0x0601	Hコンプ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x0603	0x0602	Lコンプ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x0604	0x0603	停電状態	正常/停電 正常: 0x0000/停電: 0x0000以外	
0x0605	0x0604	ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x0606	0x0605	Hコンプ回転数指示値 (rpm)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (rpm)。 ※データ内容の例のNo.R_5を参照	
0x0607	0x0606	Lコンプ回転数指示値 (rpm)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (rpm)。 ※データ内容の例のNo.R_5を参照	
0x0608	0x0607	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x0609	0x0608	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x060A~0x0680	0x0609~0x067F	未使用	-	-
0x0681	0x0680	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: -90°C~-50°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x0682~0x06C0	0x0681~0x06BF	未使用	-	-
0x06C1	0x06C0	庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x06C2~0x06FF	0x06C1~0x06FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 7】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x0701	0x0700	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0702	0x0701	ライトステップ	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1LS/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_3を参照	
0x0703	0x0702	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x0704	0x0703	ライトステップ設定値読み取り	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1LS/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_3を参照	
0x0705~0x0780	0x0704~0x077F	未使用	-	-
0x0781	0x0780	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：0.0°C~50.0°C 設定単位：0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x0782	0x0781	ライトステップ	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：0~5 設定単位：1LS ※データ内容の例のNo.W_3を参照	
0x0783~0x07C0	0x0782~0x07BF	未使用	-	-
0x07C1	0x07C0	器内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x07C2	0x07C1	ライトステップの結果		
0x07C3~0x07FF	0x07C2~0x07FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 8】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x0801	0x0800	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0802	0x0801	器内湿度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x0803	0x0802	ライトステップ	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1LS/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_3を参照	
0x0804	0x0803	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x0805	0x0804	器内湿度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x0806	0x0805	ライトステップ設定値読み取り	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1LS/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_3を参照	
0x0805~0x0880	0x0806~0x087F	未使用	-	-
0x0881	0x0880	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：0.0°C~50.0°C 設定単位：0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x0882	0x0881	器内湿度設定値変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：55.0%~90.0% 設定単位：0.1% ※データ内容の例のNo.W_6を参照	
0x0883	0x0882	ライトステップ	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：0~5 設定単位：1LS ※データ内容の例のNo.W_3を参照	
0x0884~0x08C0	0x0883~0x08BF	未使用	-	-
0x08C1	0x08C0	器内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x08C2	0x08C1	器内湿度設定値変更 (%) の結果		
0x08C3	0x08C2	ライトステップの結果		
0x08C4~0x08FF	0x08C3~0x08FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 9】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x0901	0x0900	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0902	0x0901	照明状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x0903	0x0902	停電状態	正常/停電 正常: 0x0000/停電: 0x0000以外	
0x0904	0x0903	ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x0905	0x0904	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x0906~0x0980	0x0905~0x097F	未使用	-	-
0x0981	0x0980	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: -10.0°C~60.0°C 設定単位: 0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x0982~0x09C0	0x0981~0x09BF	未使用	-	-
0x09C1	0x09C0	器内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x09C2~0x09FF	0x09C1~0x09FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 10】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x0A01	0x0A00	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0A02	0x0A01	停電状態	正常/停電 正常: 0x0000/停電: 0x0000以外	
0x0A03	0x0A02	ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x0A04	0x0A03	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x0A05~0x0A80	0x0A04~0x0A7F	未使用	-	-
0x0A81	0x0A80	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 2.0°C~50.0°C 設定単位: 0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x0A82~0x0AC0	0x0A81~0x0ABF	未使用	-	-
0x0AC1	0x0AC0	器内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x0AC2~0x0AFF	0x0AC1~0x0AFF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 11】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x0B01	0x0B00	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0B02	0x0B01	ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x0B03	0x0B02	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x0B04	0x0B03	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x0B05~0x0B80	0x0B04~0x0B7F	未使用	-	-
0x0B81	0x0B80	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 2°C~23°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x0B82~0x0BC0	0x0B81~0x0BBF	未使用	-	-
0x0BC1	0x0BC0	庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x0BC2~0x0BFF	0x0BC1~0x0BFF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 12】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x0C01	0x0C00	冷蔵室庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0C02	0x0C01	冷凍室庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x0C03	0x0C02	冷蔵室右ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x0C04	0x0C03	冷蔵室左ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x0C05	0x0C04	冷凍室右ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x0C06	0x0C05	冷凍室左ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x0C07	0x0C06	冷蔵室温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x0C08	0x0C07	冷凍室温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x0C09	0x0C08	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x0C0A~0x0C80	0x0C09~0x0C7F	未使用	-	-
0x0C81	0x0C80	冷蔵室庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 2°C~14°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x0C82	0x0C81	冷凍室庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: -35°C~-15°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	
0x0C83~0x0CC0	0x0C82~0x0CBF	未使用	-	-
0x0CC1	0x0CC0	冷蔵室庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x0CC2	0x0CC1	冷凍室庫内温度設定値変更 (°C) の結果		
0x0CC3~0x0CFF	0x0CC2~0x0CFF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 13】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x0D01	0x0D00	冷蔵室庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0D02	0x0D01	冷凍室庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x0D03	0x0D02	停電状態	停電/正常 停電：0x0000/正常：0x0000以外	
0x0D04	0x0D03	冷蔵室デフロスト状態	OFF/ON OFF：0x0000/ON：0x0000以外	
0x0D05	0x0D04	冷凍室デフロスト状態	OFF/ON OFF：0x0000/ON：0x0000以外	
0x0D06	0x0D05	冷蔵室コンプ速度 (Hz)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1Hz/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_7を参照	
0x0D07	0x0D06	冷凍室コンプ動作状態	OFF/ON OFF：0x0000/ON：0x0000以外	
0x0D08	0x0D07	冷蔵室右ドア状態	クローズ/オープン クローズ：0x0000/オープン：0x0000以外	
0x0D09	0x0D08	冷蔵室左ドア状態	クローズ/オープン クローズ：0x0000/オープン：0x0000以外	
0x0D0A	0x0D09	冷凍室右ドア状態	クローズ/オープン クローズ：0x0000/オープン：0x0000以外	
0x0D0B	0x0D0A	冷凍室左ドア状態	クローズ/オープン クローズ：0x0000/オープン：0x0000以外	
0x0D0C	0x0D0B	冷蔵室温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x0D0D	0x0D0C	冷凍室温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x0D0E	0x0D0D	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常：0x0000/遠隔警報発報中：0x0000以外	
0x0D0F~0x0D80	0x0D0E~0x0D7F	未使用	-	-
0x0D81	0x0D80	冷蔵室庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：2°C~14°C 設定単位：1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x0D82	0x0D81	冷凍室庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：-35°C~-15°C 設定単位：1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	
0x0D83~0x0DC0	0x0D82~0x0DBF	未使用	-	-
0x0DC1	0x0DC0	冷蔵室庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x0DC2	0x0DC1	冷凍室庫内温度設定値変更 (°C) の結果		
0x0DC3~0x0DFF	0x0DC2~0x0DFF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 14】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x0E01	0x0E00	器内上下平均温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0E02	0x0E01	器内上側温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x0E03	0x0E02	器内下側温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x0E04	0x0E03	停電状態	停電/正常 停電：0x0000/正常：0x0000以外	
0x0E05	0x0E04	ドア状態	クローズ/オープン クローズ：0x0000/オープン：0x0000以外	
0x0E06	0x0E05	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常：0x0000/遠隔警報発報中：0x0000以外	
0x0E07~0x0EFF	0x0E06~0x0EFF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 15】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x0F01	0x0F00	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x0F02	0x0F01	器内CO2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x0F03	0x0F02	外扉状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x0F04	0x0F03	水位センサ	加湿水なし/正常 加湿水なし: 0x0000/正常: 0x0000以外	
0x0F05	0x0F04	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x0F06	0x0F05	CO2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x0F07	0x0F06	UVランプ点灯時間設定値読み取り (min)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (min)。 ※データ内容の例のNo.R_8を参照	
0x0F08~0x0F80	0x0F07~0x0F7F	未使用	-	-
0x0F81	0x0F80	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0°C~50.0°C 設定単位: 0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x0F82	0x0F81	器内設定CO2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0%~20.0% 設定単位: 0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照	
0x0F83	0x0F82	UVランプ点灯設定時間変更 (min)	符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0min~30min 設定単位: 1min ※データ内容の例のNo.W_5を参照	
0x0F84~0x0FC0	0x0F83~0x0FBF	未使用	-	-
0x0FC1	0x0FC0	器内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x0FC2	0x0FC1	器内設定CO2濃度変更 (%) の結果		
0x0FC3	0x0FC2	UVランプ点灯設定時間変更 (min) の結果		
0x0FC4~0x0FFF	0x0FC3~0x0FFF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 16】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x1001	0x1000	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x1002	0x1001	器内CO2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1003	0x1002	器内O2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1004	0x1003	外扉状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x1005	0x1004	水位センサ	加湿水なし/正常 加湿水なし: 0x0000/正常: 0x0000以外	
0x1006	0x1005	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x1007	0x1006	CO2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1008	0x1007	O2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1009	0x1008	UVランプ点灯時間設定値読み取り (min)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (min)。 ※データ内容の例のNo.R_8を参照	
0x100A~0x1080	0x1009~0x107F	未使用	-	-
0x1081	0x1080	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0°C~50.0°C 設定単位: 0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x1082	0x1081	器内設定CO2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0%~20.0% 設定単位: 0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照	
0x1083	0x1082	器内設定O2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 1.0%~80.0% 設定単位: 0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照	
0x1084	0x1083	UVランプ点灯設定時間変更 (min)	符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0min~30min 設定単位: 1min ※データ内容の例のNo.W_5を参照	
0x1085~0x10C0	0x1084~0x10BF	未使用	-	-
0x10C1	0x10C0	器内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x10C2	0x10C1	器内設定CO2濃度変更 (%) の結果		
0x10C3	0x10C2	器内設定O2濃度変更 (%) の結果		
0x10C4	0x10C3	UVランプ点灯設定時間変更 (min) の結果		
0x10C5~0x10FF	0x10C4~0x10FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 17】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x1101	0x1100	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x1102	0x1101	器内CO2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1103	0x1102	ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x1104	0x1103	水位センサ	正常/加湿水なし 正常: 0x0000/加湿水なし: 0x0000以外	
0x1105	0x1104	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x1106	0x1105	CO2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1107	0x1106	UVランプ点灯時間設定値読み取り (min)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (min)。 ※データ内容の例のNo.R_8を参照	
0x1108~0x1180	0x1107~0x117F	未使用	-	-
0x1181	0x1180	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0°C~50.0°C 設定単位: 0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x1182	0x1181	器内設定CO2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0%~20.0% 設定単位: 0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照	
0x1183	0x1182	UVランプ点灯設定時間変更 (min)	符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0min~30min 設定単位: 1min ※データ内容の例のNo.W_5を参照	
0x1184~0x11C0	0x1183~0x11BF	未使用	-	-
0x11C1	0x11C0	器内温度設定値変更 (°C)	※Write結果一覧を参照	R
0x11C2	0x11C1	器内設定CO2濃度変更 (%)		
0x11C3	0x11C2	UVランプ点灯設定時間変更 (min)		
0x11C4~0x11FF	0x11C3~0x11FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 18】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x1201	0x1200	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x1202	0x1201	器内CO2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1203	0x1202	外扉状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x1204	0x1203	UVランプ消耗率 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1205	0x1204	除染処理状況	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (単位: なし)。 ※データ内容の例のNo.R_9を参照	
0x1206	0x1205	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x1207	0x1206	CO2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1208	0x1207	UVランプ点灯時間設定値読み取り (min)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (min)。 ※データ内容の例のNo.R_8を参照	
0x1209	0x1208	電気錠施錠状態	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001	
0x120A~0x1280	0x1209~0x127F	未使用	-	-
0x1281	0x1280	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0°C~50.0°C 設定単位: 0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x1282	0x1281	器内設定CO2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0%~20.0% 設定単位: 0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照	
0x1283	0x1282	UVランプ点灯設定時間変更 (min)	符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0min~30min 設定単位: 1min ※データ内容の例のNo.W_5を参照	
0x1284	0x1283	電気錠制御	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001	
0x1285~0x12C0	0x1284~0x12BF	未使用	-	-
0x12C1	0x12C0	器内温度設定値変更 (°C)	※Write結果一覧を参照	R
0x12C2	0x12C1	器内設定CO2濃度変更 (%)		
0x12C3	0x12C2	UVランプ点灯設定時間変更 (min)		
0x12C4	0x12C3	電気錠制御		
0x12C5~0x12FF	0x12C4~0x12FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 19】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)	
0x1301	0x1300	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R	
0x1302	0x1301	器内CO2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照		
0x1303	0x1302	器内O2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照		
0x1304	0x1303	外扉状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外		
0x1305	0x1304	UVランプ消耗率 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照		
0x1306	0x1305	除染処理状況	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (単位: なし)。 ※データ内容の例のNo.R_9を参照		
0x1307	0x1306	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照		
0x1308	0x1307	CO2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照		
0x1309	0x1308	O2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照		
0x130A	0x1309	UVランプ点灯時間設定値読み取り (min)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (min)。 ※データ内容の例のNo.R_8を参照		
0x130B	0x130A	電気錠施錠状態	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001		
0x130C~0x1380	0x130B~0x137F	未使用	-		-
0x1381	0x1380	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0°C~50.0°C 設定単位: 0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照		W
0x1382	0x1381	器内設定CO2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0%~20.0% 設定単位: 0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照		
0x1383	0x1382	器内設定O2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 1.0%~80.0% 設定単位: 0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照		
0x1384	0x1383	UVランプ点灯設定時間変更 (min)	符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0min~30min 設定単位: 1min ※データ内容の例のNo.W_5を参照		
0x1385	0x1384	電気錠制御	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001		

【DIPスイッチ設定No. 19】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x1386~0x13C0	0x1385~0x13BF	未使用	-	-
0x13C1	0x13C0	器内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x13C2	0x13C1	器内設定CO2濃度変更 (%) の結果		
0x13C3	0x13C2	器内設定O2濃度変更 (%) の結果		
0x13C4	0x13C3	UVランプ点灯設定時間変更 (min) の結果		
0x13C5	0x13C4	電気錠制御の結果		
0x13C6~0x13FF	0x13C5~0x13FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 20】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x1401	0x1400	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x1402	0x1401	器内CO2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1403	0x1402	外扉状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x1404	0x1403	UVランプ消耗率 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1405	0x1404	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x1406	0x1405	CO2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1407	0x1406	UVランプ点灯時間設定値読み取り (min)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (min)。 ※データ内容の例のNo.R_8を参照	
0x1408	0x1407	電気錠施錠状態	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001	
0x1409~0x1480	0x1408~0x147F	未使用	-	-
0x1481	0x1480	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0°C~50.0°C 設定単位: 0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x1482	0x1481	器内設定CO2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0%~20.0% 設定単位: 0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照	
0x1483	0x1482	UVランプ点灯設定時間変更 (min)	符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0min~30min 設定単位: 1min ※データ内容の例のNo.W_5を参照	
0x1484	0x1483	電気錠制御	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001	
0x1485~0x14C0	0x1484~0x14BF	未使用	-	-
0x14C1	0x14C0	器内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x14C2	0x14C1	器内設定CO2濃度変更 (%) の結果		
0x14C3	0x14C2	UVランプ点灯設定時間変更 (min) の結果		
0x14C4	0x14C3	電気錠制御の結果		
0x14C5~0x14FF	0x14C4~0x14FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 21】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x1501	0x1500	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x1502	0x1501	器内CO2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1503	0x1502	外扉状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x1504	0x1503	UVランプ消耗率 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1505	0x1504	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x1506	0x1505	CO2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1507	0x1506	UVランプ点灯時間設定値読み取り (min)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (min)。 ※データ内容の例のNo.R_8を参照	
0x1508~0x1580	0x1507~0x157F	未使用	-	-
0x1581	0x1580	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0°C~50.0°C 設定単位: 0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x1582	0x1581	器内設定CO2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0%~20.0% 設定単位: 0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照	
0x1583	0x1582	UVランプ点灯設定時間変更 (min)	符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0min~30min 設定単位: 1min ※データ内容の例のNo.W_5を参照	
0x1584~0x15C0	0x1583~0x15BF	未使用	-	-
0x15C1	0x15C0	器内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x15C2	0x15C1	器内設定CO2濃度変更 (%) の結果		
0x15C3	0x15C2	UVランプ点灯設定時間変更 (min) の結果		
0x15C4~0x15FF	0x15C3~0x15FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 22】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x1601	0x1600	流入風速 (x0.01m/s)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます ("x0.01m/s"/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_10を参照	R
0x1602	0x1601	流出風速 (x0.01m/s)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます ("x0.01m/s"/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_10を参照	
0x1603	0x1602	差圧 (Pa)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1Pa/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_11を参照	
0x1604	0x1603	ウインドウ開閉状態	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_3を参照 上SW 下SW 扉位置 0: ON、 OFF 全閉 1: OFF、 OFF 中間 2: OFF、 ON 全開 3: ON、 ON 扉SW故障	
0x1605~0x16FF	0x1604~0x16FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 23】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x1701	0x1700	流入風速 (x0.01m/s)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます ("x0.01m/s"/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_10を参照	R
0x1702	0x1701	流出風速 (x0.01m/s)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます ("x0.01m/s"/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_10を参照	
0x1703	0x1702	差圧 (Pa)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1Pa/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_11を参照	
0x1704	0x1703	ウインドウ開閉状態	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_3を参照 上SW 下SW 扉位置 0: ON、 OFF 全閉 1: OFF、 OFF 中間 2: OFF、 ON 全開 3: ON、 ON 扉SW故障	
0x1705~0x17FF	0x1704~0x17FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 24】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x1801	0x1800	上室庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x1802	0x1801	下室庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x1803	0x1802	停電状態	停電/正常 停電：0x0000/正常：0x0000以外	
0x1804	0x1803	上室庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x1805	0x1804	下室庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x1806	0x1805	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常：0x0000/遠隔警報発報中：0x0000以外	
0x1807~0x1880	0x1806~0x187F	未使用	-	-
0x1881	0x1880	上室庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：-45°C~-18°C 設定単位：1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x1882	0x1881	下室庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：-45°C~-18°C 設定単位：1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	
0x1883~0x18C0	0x1882~0x18BF	未使用	-	-
0x18C1	0x18C0	上室庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x18C2	0x18C1	下室庫内温度設定値変更 (°C) の結果		
0x18C3~0x18FF	0x18C2~0x18FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 25】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x1901	0x1900	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x1902	0x1901	停電状態	停電/正常 停電: 0x0000/正常: 0x0000以外	
0x1903	0x1902	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x1904	0x1903	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x1905~0x1980	0x1904~0x197F	未使用	-	-
0x1981	0x1980	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: -35°C~-18°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x1982~0x19C0	0x1981~0x19BF	未使用	-	-
0x19C1	0x19C0	庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x19C2~0x19FF	0x19C1~0x19FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 26】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x1A01	0x1A00	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x1A02	0x1A01	器内CO2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1A03	0x1A02	外扉状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x1A04	0x1A03	UVランプ消耗率 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1A05	0x1A04	除染処理状況	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (単位: なし)。 ※データ内容の例のNo.R_9を参照	
0x1A06	0x1A05	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x1A07	0x1A06	CO2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1A08	0x1A07	UVランプ点灯時間設定値読み取り (min)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (min)。 ※データ内容の例のNo.R_8を参照	
0x1A09	0x1A08	電気錠施錠状態	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001	
0x1A0A	0x1A09	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x1A0B~0x1A80	0x1A0A~0x1A7F	未使用	-	-
0x1A81	0x1A80	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0°C~50.0°C 設定単位: 0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x1A82	0x1A81	器内設定CO2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0%~20.0% 設定単位: 0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照	
0x1A83	0x1A82	UVランプ点灯設定時間変更 (min)	符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0min~30min 設定単位: 1min ※データ内容の例のNo.W_5を参照	
0x1A84	0x1A83	電気錠制御	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001	
0x1A85~0x1AC0	0x1A84~0x1ABF	未使用	-	-
0x1AC1	0x1AC0	器内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x1AC2	0x1AC1	器内設定CO2濃度変更 (%) の結果		
0x1AC3	0x1AC2	UVランプ点灯設定時間変更 (min) の結果		
0x1AC4	0x1AC3	電気錠制御の結果		
0x1AC5~0x1AFF	0x1AC4~0x1AFF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 27】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x1B01	0x1B00	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x1B02	0x1B01	器内CO2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1B03	0x1B02	器内O2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1B04	0x1B03	外扉状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x1B05	0x1B04	UVランプ消耗率 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1B06	0x1B05	除染処理状況	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (単位: なし)。 ※データ内容の例のNo.R_9を参照	
0x1B07	0x1B06	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x1B08	0x1B07	CO2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1B09	0x1B08	O2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x1B0A	0x1B09	UVランプ点灯時間設定値読み取り (min)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (min)。 ※データ内容の例のNo.R_8を参照	
0x1B0B	0x1B0A	電気錠施錠状態	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001	
0x1B0C	0x1B0B	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x1B0D~0x1B80	0x1B0C~0x1B7F	未使用	-	

【DIPスイッチ設定No. 27】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x1B81	0x1B80	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：0.0°C～50.0°C 設定単位：0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x1B82	0x1B81	器内設定CO2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：0.0%～20.0% 設定単位：0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照	
0x1B83	0x1B82	器内設定O2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：1.0%～80.0% 設定単位：0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照	
0x1B84	0x1B83	UVランプ点灯設定時間変更 (min)	データ値を符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：0min～30min 設定単位：1min ※データ内容の例のNo.W_5を参照	
0x1B85	0x1B84	電気錠制御	開錠/施錠 開錠：0x0000/施錠：0x0001	
0x1B86～0x1BC0	0x1B85～0x1BBF	未使用	-	-
0x1BC1	0x1BC0	器内温度設定値変更 (°C)	※Write結果一覧を参照	R
0x1BC2	0x1BC1	器内設定CO2濃度変更 (%)		
0x1BC3	0x1BC2	器内設定O2濃度変更 (%)		
0x1BC4	0x1BC3	UVランプ点灯設定時間変更 (min)		
0x1BC5	0x1BC4	電気錠制御		
0x1BC6～0x1BFF	0x1BC5～0x1BFF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 28】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x1C01	0x1C00	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x1C02	0x1C01	停電状態	停電/正常 停電: 0x0000/正常: 0x0000以外	
0x1C03	0x1C02	デフロスト状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x1C04	0x1C03	ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x1C05	0x1C04	コンプ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x1C06	0x1C05	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x1C07	0x1C06	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x1C06~0x1C80	0x1C07~0x1C7F	未使用	-	-
0x1C81	0x1C80	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 2°C~14°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x1C82~0x1CC0	0x1C81~0x1CBF	未使用	-	-
0x1CC1	0x1CC0	庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x1CC2~0x1CFF	0x1CC1~0x1CFF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 29】

※MDF-DU503VXH/DU703VXHの場合、HコンプはAコンプ、LコンプはBコンプに読み替えること

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)	
0x1D01	0x1D00	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R	
0x1D02	0x1D01	外気温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照		
0x1D03	0x1D02	Hコンプ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外		
0x1D04	0x1D03	Lコンプ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外		
0x1D05	0x1D04	停電状態	正常/停電 正常: 0x0000/停電: 0x0000以外		
0x1D06	0x1D05	ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外		
0x1D07	0x1D06	Hコンプ回転数指示値 (rpm)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (rpm)。 ※データ内容の例のNo.R_5を参照		
0x1D08	0x1D07	Lコンプ回転数指示値 (rpm)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (rpm)。 ※データ内容の例のNo.R_5を参照		
0x1D09	0x1D08	Hコンプ Read Power	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (1 単位なし)。 ※データ内容の例のNo.R_9を参照		
0x1D0A	0x1D09	Lコンプ Read Power	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (1 単位なし)。 ※データ内容の例のNo.R_9を参照		
0x1D0B	0x1D0A	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照		
0x1D0C	0x1D0B	高温警報温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照		
0x1D0D	0x1D0C	警報遅延時間設定値読み取り (分)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (分)。 ※データ内容の例のNo.R_12を参照		
0x1D0E	0x1D0D	リングバックON/OFF設定値読み取り	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x03E8 (10進: 1000)		
0x1D0F	0x1D0E	リングバック時間設定値読み取り (分)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (分)。 ※データ内容の例のNo.R_12を参照		
0x1D10	0x1D0F	低温警報温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照		
0x1D11	0x1D10	コンプ起動遅延時間設定値読み取り (秒)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (10秒)。 ※データ内容の例のNo.R_13を参照		
0x1D12	0x1D11	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外		
0x1D13~0x1D80	0x1D12~0x1D7F	未使用	-		-

【DIPスイッチ設定No. 29】

※MDF-DU503VXH/DU703VXHの場合、HコンプはAコンプ、LコンプはBコンプに読み替えること

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x1D81	0x1D80	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：-90°C～-50°C 設定単位：1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x1D82	0x1D81	高温警報温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：5°C～40°C 設定単位：1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	
0x1D83	0x1D82	警報遅延時間設定値変更 (分)	データ値を符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：0分～15分 設定単位：1分 ※データ内容の例のNo.W_6を参照	
0x1D84	0x1D83	リングバックON/OFF設定値変更	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 OFF/ON OFF：0.0/ON：100.0 ※データ内容の例のNo.W_7を参照	
0x1D85	0x1D84	リングバック時間設定値変更 (分)	データ値を符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：1分～99分 設定単位：1分 ※データ内容の例のNo.W_6を参照	
0x1D86	0x1D85	低温警報温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：-40°C～-5°C 設定単位：1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	
0x1D87	0x1D86	コンプ起動遅延時間設定値変更 (秒)	データ値を符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：180秒～600秒 設定単位：10秒 ※データ内容の例のNo.W_8を参照	
0x1D88～0x1DC0	0x1D87～0x1DBF	未使用	-	-
0x1DC1	0x1DC0	庫内温度設定値変更 (°C) 結果	※Write結果一覧を参照	R
0x1DC2	0x1DC1	高温警報温度設定値変更 (°C) 結果		
0x1DC3	0x1DC2	警報遅延時間設定値変更 (分) 結果		
0x1DC4	0x1DC3	リングバックON/OFF設定値変更結果		
0x1DC5	0x1DC4	リングバック時間設定値変更 (分) 結果		
0x1DC6	0x1DC5	低温警報温度設定値変更 (°C) 結果		
0x1DC7	0x1DC6	コンプ起動遅延時間設定値変更 (秒) 結果		
0x1DC8～0x1DFF	0x1DC7～0x1DFF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 30】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)	
0x1E01	0x1E00	冷蔵室庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R	
0x1E02	0x1E01	冷凍室庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照		
0x1E03	0x1E02	停電状態	停電/正常 停電: 0x0000/正常: 0x0000以外		
0x1E04	0x1E03	冷蔵室デフロスト状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外		
0x1E05	0x1E04	冷凍室デフロスト状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外		
0x1E06	0x1E05	冷蔵室コンプ速度 (Hz)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1Hz/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_7を参照		
0x1E07	0x1E06	冷凍室コンプ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外		
0x1E08	0x1E07	冷蔵室ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外		
0x1E09	0x1E08	冷凍室ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外		
0x1E0A	0x1E09	冷蔵室温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照		
0x1E0B	0x1E0A	冷凍室温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照		
0x1E1C	0x1E0B	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外		
0x1E0D~0x1E80	0x1E0C~0x1E7F	未使用	-		-
0x1E81	0x1E80	冷蔵室庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 2°C~14°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照		W
0x1E82	0x1E81	冷凍室庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: -35°C~-15°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照		
0x1E83~0x1EC0	0x1E82~0x1EBF	未使用	-	-	
0x1EC1	0x1EC0	冷蔵室庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R	
0x1EC2	0x1EC1	冷凍室庫内温度設定値変更 (°C) の結果			
0x1EC3~0x1EFF	0x1EC2~0x1EFF	未使用	-	-	

【DIPスイッチ設定No. 31】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)	
0x1F01	0x1F00	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R	
0x1F02	0x1F01	コンプレッサ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外		
0x1F03	0x1F02	停電状態	正常/停電 正常: 0x0000/停電: 0x0000以外		
0x1F04	0x1F03	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照		
0x1F05	0x1F04	警報遅延時間設定値読み取り (min)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (min)。 ※データ内容の例のNo.R_8を参照		
0x1F06	0x1F05	リングバック時間設定値読み取り (min)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (min)。 ※データ内容の例のNo.R_8を参照		
0x1F07	0x1F06	コンプレッサ起動遅延時間設定値読み取り (min)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (min)。 ※データ内容の例のNo.R_8を参照		
0x1F08	0x1F07	高温警報温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照		
0x1F09	0x1F08	低温警報温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照		
0x1F0A	0x1F09	庫内温度センサ断線状態	正常/庫内温度センサ断線状態 正常: 0x0000/庫内温度センサ断線状態: 0x0000以外		
0x1F0B	0x1F0A	庫内温度センサ短絡状態	正常/庫内温度センサ短絡状態 正常: 0x0000/庫内温度センサ短絡状態: 0x0000以外		
0x1F0C	0x1F0B	コンプレッサ保護センサ断線状態	正常/コンプレッサ保護センサ断線状態 正常: 0x0000/コンプレッサ保護センサ断線状態: 0x0000以外		
0x1F0D	0x1F0C	コンプレッサ保護センサ短絡状態	正常/コンプレッサ保護センサ短絡状態 正常: 0x0000/コンプレッサ保護センサ短絡状態: 0x0000以外		
0x1F0E	0x1F0D	停電警報用バッテリー充電不良状態	正常/停電警報用バッテリー充電不良状態 正常: 0x0000/停電警報用バッテリー充電不良状態: 0x0000以外		
0x1F0F	0x1F0E	停電警報用バッテリー交換時期	正常/停電警報用バッテリー交換時期 正常: 0x0000/停電警報用バッテリー交換時期: 0x0000以外		
0x1F10	0x1F0F	補助冷却装置用バッテリー交換時期	正常/補助冷却装置用バッテリー交換時期 正常: 0x0000/補助冷却装置用バッテリー交換時期: 0x0000以外		
0x1F11	0x1F10	コンプレッサ温度異常状態	正常/コンプレッサ温度異常状態 正常: 0x0000/コンプレッサ温度異常状態: 0x0000以外		
0x1F12	0x1F11	過負荷運転状態	正常/過負荷運転状態 正常: 0x0000/過負荷運転状態: 0x0000以外		
0x1F13~0x1F80	0x1F12~0x1F7F	未使用	-		-

【DIPスイッチ設定No. 31】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x1F81	0x1F80	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：-90°C～40°C 設定単位：1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x1F82	0x1F81	警報遅延時間設定値変更 (分)	データ値を符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：0分～15分 設定単位：1分 ※データ内容の例のNo.W_6を参照	
0x1F83	0x1F82	リングバック時間設定値変更 (分)	データ値を符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：0分～60分 設定単位：10分 ※データ内容の例のNo.W_9を参照	
0x1F84	0x1F83	コンプレッサ起動遅延時間設定値変更 (分)	データ値を符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：3分～15分 設定単位：1分 ※データ内容の例のNo.W_6を参照	
0x1F85	0x1F84	高温警報温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：5°C～40°C 設定単位：1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	
0x1F86	0x1F85	低温警報温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：-40°C～5°C 設定単位：1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	
0x1F87～0x1FC0	0x1F86～0x1FBF	未使用	-	-
0x1FC1	0x1FC0	庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x1FC2	0x1FC1	警報遅延時間設定値変更 (分) の結果		
0x1FC3	0x1FC2	リングバック時間設定値変更 (分) の結果		
0x1FC4	0x1FC3	コンプレッサ起動遅延時間設定値変更 (分) の結果		
0x1FC5	0x1FC4	高温警報温度設定値変更 (°C) の結果		
0x1FC6	0x1FC5	低温警報温度設定値変更 (°C) の結果		
0x1FC7～0x1FFF	0x1FC6～0x1FFF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 32】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x2001	0x2000	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x2002	0x2001	Hコンプ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x2003	0x2002	Lコンプ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x2004	0x2003	停電状態	正常/停電 正常: 0x0000/停電: 0x0000以外	
0x2005	0x2004	ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x2006	0x2005	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x2007	0x2006	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x2008~0x2080	0x2007~0x207F	未使用	-	-
0x2081	0x2080	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: -90°C~-50°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x2082~0x20C0	0x2081~0x20BF	未使用	-	-
0x20C1	0x20C0	庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x20C2~0x20FF	0x20C1~0x20FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 33】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x2101	0x2100	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x2102	0x2101	器内CO2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x2103	0x2102	外扉状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x2104	0x2103	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x2105	0x2104	CO2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x2106	0x2105	UV-LED点灯設定読み取り	OFF設定/ON設定 OFF設定: 0x0000/ON設定: 0x0000以外	
0x2107	0x2106	電気錠施錠状態	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001	
0x2108	0x2107	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x2107~0x2180	0x2108~0x217F	未使用	-	-
0x2181	0x2180	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0°C~50.0°C 設定単位: 0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x2182	0x2181	器内設定CO2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0%~20.0% 設定単位: 0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照	
0x2183	0x2182	UV-LED点灯設定時間変更	OFF設定/ON設定 OFF設定: 0x0000/ON設定: 0x0001	
0x2184	0x2183	電気錠制御	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001	
0x2185~0x21C0	0x2184~0x21BF	未使用	-	-
0x21C1	0x21C0	器内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x21C2	0x21C1	器内設定CO2濃度変更 (%) の結果		
0x21C3	0x21C2	UV-LED点灯設定時間変更の結果		
0x21C4	0x21C3	電気錠制御の結果		
0x21C5~0x21FF	0x21C4~0x21FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 34】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x2201	0x2200	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x2202	0x2201	停電状態	停電/正常 停電: 0x0000/正常: 0x0000以外	
0x2203	0x2202	デフロスト状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x2204	0x2203	ドア状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x2205	0x2204	右コンプ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x2206	0x2205	左コンプ動作状態	OFF/ON OFF: 0x0000/ON: 0x0000以外	
0x2207	0x2206	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照	
0x2208	0x2207	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x2209~0x2280	0x2208~0x227F	未使用	-	-
0x2281	0x2280	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 2°C~14°C 設定単位: 1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x2282~0x22C0	0x2281~0x22BF	未使用	-	-
0x22C1	0x22C0	庫内温度設定値変更 (°C) の結果	※Write結果一覧を参照	R
0x22C2~0x22FF	0x22C1~0x22FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 35】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x2301	0x2300	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x2302	0x2301	器内CO2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x2303	0x2302	外扉状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x2304	0x2303	除染処理状況	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (単位: なし)。 ※データ内容の例のNo.R_9を参照	
0x2305	0x2304	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x2306	0x2305	CO2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x2307	0x2306	UV-LED点灯設定読み取り	OFF設定: 0x0000 ON設定 (Normal設定): 0x0001 ON設定 (Extended設定): 0x0002	
0x2308	0x2307	電気錠施錠状態	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001	
0x2309	0x2308	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x230A~0x2380	0x2309~0x237F	未使用	-	
0x2381	0x2380	器内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0°C~50.0°C 設定単位: 0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x2382	0x2381	器内設定CO2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0%~20.0% 設定単位: 0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照	
0x2383	0x2382	UV-LED点灯設定変更	OFF設定/ON設定 (Normal設定) OFF設定: 0x0000/ON設定 (Normal設定): 0x0001	
0x2384	0x2383	電気錠制御	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001	
0x2385~0x23C0	0x2384~0x23BF	未使用	-	-
0x23C1	0x23C0	器内温度設定値変更 (°C)	※Write結果一覧を参照	R
0x23C2	0x23C1	器内設定CO2濃度変更 (%)		
0x23C3	0x23C2	UV-LED点灯設定変更		
0x23C4	0x23C3	電気錠制御		
0x23C5~0x23FF	0x23C4~0x23FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 36】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x2401	0x2400	器内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R
0x2402	0x2401	器内CO2濃度 (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x2403	0x2402	外扉状態	クローズ/オープン クローズ: 0x0000/オープン: 0x0000以外	
0x2404	0x2403	除染処理状況	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (単位: なし)。 ※データ内容の例のNo.R_9を参照	
0x2405	0x2404	器内湿度 (%RH)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%RH/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_14を参照	
0x2406	0x2405	器内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	
0x2407	0x2406	CO2濃度設定値読み取り (%)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1%/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_6を参照	
0x2408	0x2407	UV-LED点灯設定読み取り	OFF設定: 0x0000 ON設定 (Normal設定): 0x0001 ON設定 (Extended設定): 0x0002	
0x2409	0x2408	電気錠施錠状態	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001	
0x240A	0x2409	器内湿度設定値読み取り (%RH)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1%RH/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_15を参照	
0x240B	0x240A	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常: 0x0000/遠隔警報発報中: 0x0000以外	
0x240C~0x2480	0x240B~0x247F	未使用	-	-
0x2481	0x2480	器内設定温度変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0°C~50.0°C 設定単位: 0.1°C ※データ内容の例のNo.W_2を参照	W
0x2482	0x2481	器内設定CO2濃度変更 (%)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0.0%~20.0% 設定単位: 0.1% ※データ内容の例のNo.W_4を参照	
0x2483	0x2482	UV-LED点灯設定変更	OFF設定/ON設定 (Normal設定) OFF設定: 0x0000/ON設定 (Normal設定): 0x0001	
0x2484	0x2483	電気錠制御	開錠/施錠 開錠: 0x0000/施錠: 0x0001	
0x2485	0x2484	器内設定湿度変更 (%RH)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲: 0%RH~95%RH 設定単位: 1%RH ※データ内容の例のNo.W_1を参照	

【DIPスイッチ設定No. 36】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)
0x2486~0x24C0	0x2485~0x24BF	未使用	-	-
0x24C1	0x24C0	器内設定温度変更 (°C)	※Write結果一覧を参照	R
0x24C2	0x24C1	器内設定CO ₂ 濃度変更 (%)		
0x24C3	0x24C2	UV-LED点灯設定変更		
0x24C4	0x24C3	電気錠制御		
0x24C5	0x24C4	器内設定湿度変更 (%RH)		
0x24C6~0x24FF	0x24C5~0x24FF	未使用	-	-

【DIPスイッチ設定No. 37】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/ Write(W)	
0x2501	0x2500	庫内温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照	R	
0x2502	0x2501	外気温度 (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (0.1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_1を参照		
0x2503	0x2502	Aコンプ動作状態	OFF/ON OFF : 0x0000 / ON : 0x0000以外		
0x2504	0x2503	Bコンプ動作状態	OFF/ON OFF : 0x0000 / ON : 0x0000以外		
0x2505	0x2504	停電状態	正常/停電 正常 : 0x0000 / 停電 : 0x0000以外		
0x2506	0x2505	ドア状態	クローズ/オープン クローズ : 0x0000 / オープン : 0x0000以外		
0x2507	0x2506	庫内温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照		
0x2508	0x2507	高温警報温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照		
0x2509	0x2508	警報遅延時間設定値読み取り (分)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (分)。 ※データ内容の例のNo.R_12を参照		
0x250A	0x2509	リングバックON/OFF設定値読み取り	OFF/ON OFF : 0x0000 / ON : 0x03E8 (10進 : 1000)		
0x250B	0x250A	リングバック時間設定値読み取り (分)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (分)。 ※データ内容の例のNo.R_12を参照		
0x250C	0x250B	低温警報温度設定値読み取り (°C)	データ値を符号付き2の補数に変換して10で割ることで、値が得られます (1°C/dig)。 ※データ内容の例のNo.R_2を参照		
0x250D	0x250C	コンプ起動遅延時間設定値読み取り (秒)	データ値を符号付き2の補数に変換することで、値が得られます (10秒)。 ※データ内容の例のNo.R_13を参照		
0x250E	0x250D	リモートアラーム動作状態	正常/遠隔警報発報中 正常 : 0x0000 / 遠隔警報発報中 : 0x0000以外		
0x250F~0x2580	0x250E~0x257F	未使用	-		-

【DIPスイッチ設定No. 37】

レジスタアドレス	PDUアドレス	パラメータ	データ内容	Read(R)/Write(W)
0x2581	0x2580	庫内温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：-90°C～40°C 設定単位：1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	W
0x2582	0x2581	高温警報温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：5°C～40°C 設定単位：1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	
0x2583	0x2582	警報遅延時間設定値変更 (分)	データ値を符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：0分～15分 設定単位：1分 ※データ内容の例のNo.W_6を参照	
0x2584	0x2583	リングバックON/OFF設定値変更	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 OFF/ON OFF：0.0/ON：100.0 ※データ内容の例のNo.W_7を参照	
0x2585	0x2584	リングバック時間設定値変更 (分)	データ値を符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：1分～99分 設定単位：1分 ※データ内容の例のNo.W_6を参照	
0x2586	0x2585	低温警報温度設定値変更 (°C)	データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：-40°C～-5°C 設定単位：1°C ※データ内容の例のNo.W_1を参照	
0x2587	0x2586	コンプ起動遅延時間設定値変更 (秒)	データ値を符号付き2の補数に変換した値を設定します。 設定範囲：180秒～600秒 設定単位：10秒 ※データ内容の例のNo.W_8を参照	
0x2588～0x25C0	0x2587～0x25BF	未使用	-	-
0x25C1	0x25C0	庫内温度設定値変更 (°C) 結果	※Write結果一覧を参照	R
0x25C2	0x25C1	高温警報温度設定値変更 (°C) 結果		
0x25C3	0x25C2	警報遅延時間設定値変更 (分) 結果		
0x25C4	0x25C3	リングバックON/OFF設定値変更結果		
0x25C5	0x25C4	リングバック時間設定値変更 (分) 結果		
0x25C6	0x25C5	低温警報温度設定値変更 (°C) 結果		
0x25C7	0x25C6	コンプ起動遅延時間設定値変更 (秒) 結果		
0x25C8～0x25FF	0x25C7～0x25FF	未使用	-	-

Writeの結果一覧

値	ステータス
0x0000	成功
0x1001	無効コマンド応答
0x1002	チェックサム異常
0x1003	応答なし (タイムアウト)
0x1004	レスポンスコード不一致
0x1005	Write不可 (WriteコマンドSWがOFF)
0x0006	未使用
0x0007	書き込みデータ不正
0x0008	メンテナンス中 (ファームウェア更新中)
0x0009	システムBusy状態 (書き込み中)
0x100A	機器ID不一致
0x100B	データ不一致
0x8000	初期値

0x1001~0x1005, 0x100A, 0x100Bの値が返ってくる場合は、弊社営業所もしくは販売店に連絡してください。

※「書き込みアドレス不正」の場合は、Modbus例外 (ILLEGAL DATA ADDRESS) の応答になります。

※「ファンクションコード不正」の場合は、Modbus例外 (ILLEGAL FUNCTION) の応答になります。

データ内容の例

Read (レジスタ読み出し) の例

No.	代表パラメータ	データ精度	データ内容 (値) の変換例
R_1	庫内温度 (°C)	0.1°C/dig	0xF831の符号付き2の補数は、-1999に等しい。 -1999/10=-199.9 従って、値は-199.9°Cとなる。
R_2	庫内温度設定値読み取り (°C)	1°C/dig	0xFF4Cの符号付き2の補数は、-180に等しい。 -180/10=-18 従って、値は-18°Cとなる。
R_3	ライトステップ	1/dig	0x0032の符号付き2の補数は、50に等しい。 50/10=5 従って、値は5となる。
R_4	ドア開時間 (秒)	0.1秒/dig	0x270Fの符号付き2の補数は、9999に等しい。 9999/10=999.9 従って、値は999.9秒となる。
R_5	Hコンプ回転数指示値 (rpm)	1rpm	0x1194の符号付き2の補数は、4500に等しい。 従って、値は4500rpmとなる。
R_6	器内湿度 (%)	0.1%/dig	0xFFFF4の符号付き2の補数は、-12に等しい。 -12/10=-1.2 従って、値は-1.2%となる。
R_7	冷蔵室コンプ速度 (Hz)	0.1Hz/dig	0x270Fの符号付き2の補数は、9999に等しい。 9999/10=999.9 従って、値は999.9Hzとなる。
R_8	UVランプ点灯時間設定値読み取り (min)	1min	0x001Eの符号付き2の補数は、30に等しい。 従って、値は30minとなる。
R_9	除染処理状況	1	0x00C8の符号付き2の補数は、200に等しい。 従って、値は200となる。 "値は百の位がステップ番号、十の位と一の位は除染エラー番号 (エラー発生していない場合は00) " 例えば、ステップ7でエラー34発生中は、734が返送されます。
R_10	流入風速 (x0.01m/s)	"x0.01m/s"/dig	0x2706の符号付き2の補数は、9990に等しい。 9990/10=999 従って、値は999x0.01m/s (9.99m/s) となる。
R_11	差圧 (Pa)	0.1Pa/dig	0x270Fの符号付き2の補数は、9999に等しい。 9999/10=999.9 従って、値は999.9Paとなる。
R_12	警報遅延時間設定値読み取り (分)	1分	0x000Fの符号付き2の補数は、15に等しい。 従って、値は15分となる。
R_13	コンプ起動遅延時間設定値読み取り (秒)	10秒	0x0258の符号付き2の補数は、600に等しい。 従って、値は600秒となる。
R_14	器内湿度 (%RH)	0.1%RH/dig	0x270Fの符号付き2の補数は、9999に等しい。 9999/10=999.9 従って、値は999.9%RHとなる。
R_15	器内湿度設定値読み取り (%RH)	1%RH/dig	0xFF4Cの符号付き2の補数は、950に等しい。 950/10=95 従って、値は95%RHとなる。

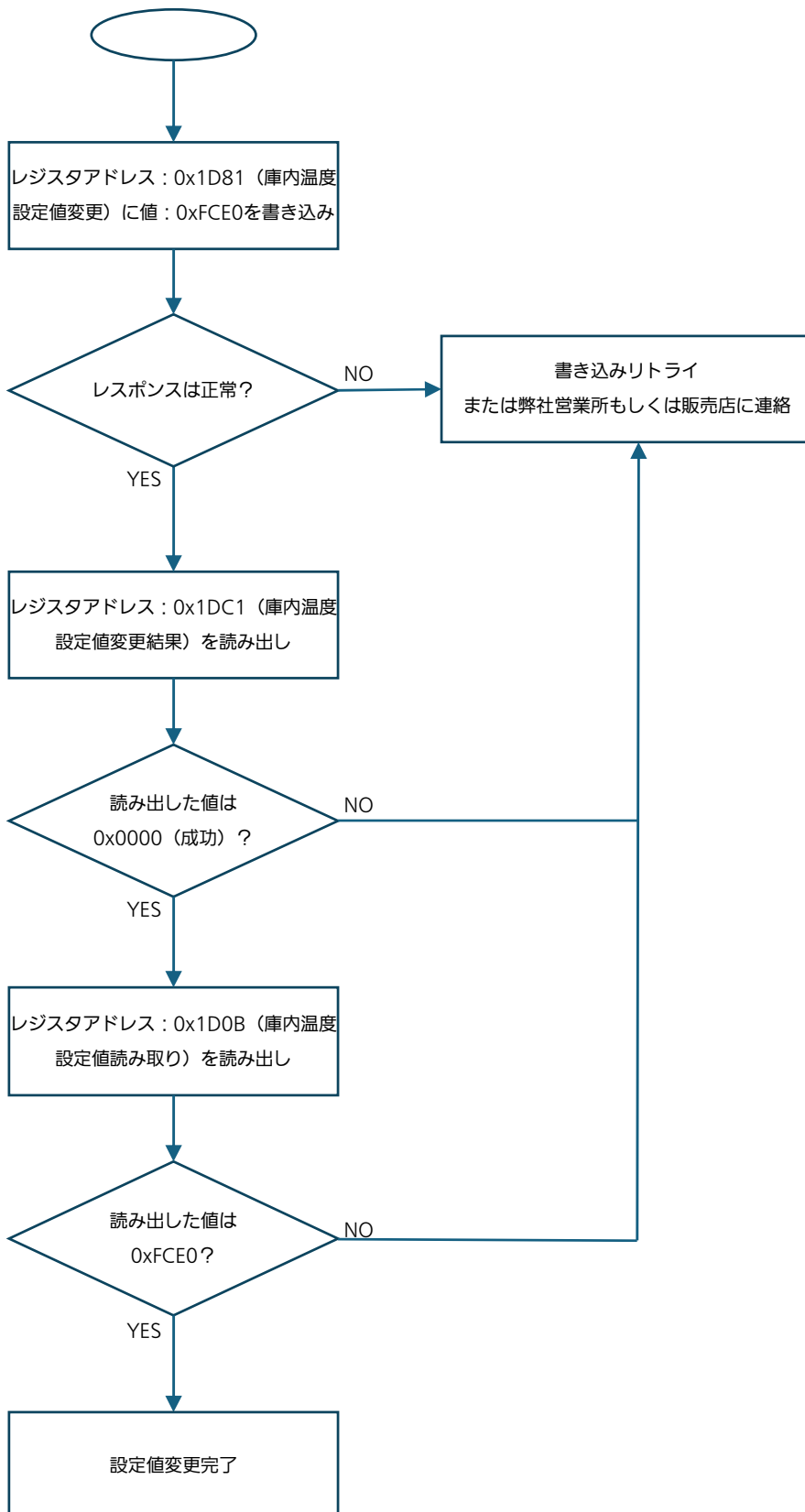
Write (レジスタ書き込み) の例

下記は、例を示しています。実際に設定する際は、各項目の設定範囲内の値を設定してください。

No.	代表パラメータ	データ精度	データ内容(値)の変換例
W_1	庫内温度設定値変更 (°C)	1°C (×10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ -18°Cを設定したい場合 -18×10=-180 -180は、符号付き2の補数の0xFF4Cに等しい。 従って、設定値は0xFF4Cとなる。
W_2	器内温度設定値変更 (°C)	0.1°C (×10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50.0°Cを設定したい場合 50.0×10=500 500は、符号付き2の補数の0x01F4に等しい。 従って、設定値は0x01F4となる。
W_3	ライトステップ	1 (×10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5を設定したい場合 5×10=50 50は、符号付き2の補数の0x0032に等しい。 従って、設定値は0x0032となる。
W_4	器内湿度設定値変更 (%)	0.1% (×10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 55.0を設定したい場合 55.0×10=550 550は、符号付き2の補数の0x0226に等しい。 従って、設定値は0x0226となる。
W_5	UVランプ点灯設定時間変更 (min)	1min (×1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 30を設定したい場合 30は、符号付き2の補数の0x001Eに等しい。 従って、設定値は0x001Eとなる。
W_6	警報遅延時間設定値変更 (分)	1分 (×1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15を設定したい場合 15は、符号付き2の補数の0x000Fに等しい。 従って、設定値は0x000Fとなる。
W_7	リングバックON/OFF設定値変更	OFF/ON (×10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ONを設定したい場合 100.0×10=1000 1000は、符号付き2の補数の0x03E8に等しい。 従って、設定値は0x03E8となる。
W_8	コンプ起動遅延時間設定値変更 (秒)	10秒 (×1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 600を設定したい場合 600は、符号付き2の補数の0x0258に等しい。 従って、設定値は0x0258となる。
W_9	リングバック時間設定値変更 (分)	10分 (×1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 60を設定したい場合 60は、符号付き2の補数の0x003Cに等しい。 従って、設定値は0x003Cとなる。
W_10	器内設定湿度変更 (%RH)	1%RH (×10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 95%RHを設定したい場合 95×10=950 950は、符号付き2の補数の0x03B6に等しい。 従って、設定値は0x03B6となる。

※：レジスタに値を書き込んだ場合、対象パラメータに対応するWrite ステータスレジスタを読み出して結果を確認し、その後、対象のパラメータに対応する設定値読み取りのレジスタを読み出して、正しく値が設定できたことを確認してください。

例) MDF-DU503VH/703VHで、レジスタアドレス：0x1D81（庫内温度設定値変更）に値：-80℃（データ値を10倍して、符号付き2の補数に変換した値は0xFCE0）を、書き込んだ場合



PHC株式会社

〒370-0596 群馬県邑楽郡大泉町坂田 1 丁目 1 番 1 号

© PHC Corporation 2025

LDCQ020300-3